

「地震体験車」で 地震の疑似体験をしてみませんか



突然、グラっときたら！
その時のために…
身をもって備えましょう！



近い将来発生すると考えられている大規模な地震・・・
突然発生する地震に備えて、身の安全を守るには日頃からの訓練が大切です。
現在、川崎市内に「地震体験車」は2台配置されております。
川崎市内の町内会、各学校、幼稚園、共同住宅、事業所等の訓練や、催し物を行う際に、**各消防署に問い合わせし、予約できれば体験することができます。**
是非活用してください。

【体験時の注意事項】

- ・ 妊婦、乳児及び酩酊者等、安全に体験ができないと係員が判断した場合は地震体験ができません。
- ・ 未就学児及び小学校低学年が体験する場合は、保護者等が了解した上で、1名につき15歳以上の付添者を1名同乗が必要となります。
- ・ 体験時は起震室内の手すり等にしっかりとつかまるなど、係員の指示に従ってください。
- ・ マスクの着用や消毒等の感染症対策にご協力ください。



川崎市消防局



地震体験車、お問い合わせ先については裏面をご覧ください。

川崎市に配置されている「地震体験車」

● P 車



令和5年に配置。

震度2から7までの階級別の地震のほか、関東地震、十勝沖地震、兵庫県南部地震、宮城県沖地震、新潟県中越地震、熊本地震などの過去の地震の揺れを体験できます。また、東海地震、東南海地震、南海地震を想定した地震の揺れも体験できます。

● S 車



令和2年に配置。

震度1から7までの階級別の地震のほか、熊本地震、東日本大震災、新潟県中越地震、阪神淡路大震災、関東大震災などの過去の地震の揺れを体験できます。また、首都直下型、南海トラフ地震、東海地震を想定した地震の揺れも体験できます。

※ 地震体験車による訓練には一定のスペース(10m×6m×高さ3.5mのスペースで水平かつ固い地面)及び進入路(車両は全長約7m、幅約2.4m、高さ約3.5mの7tトラック)が必要です。

地震にあったら…

- 1 **まずは自分の身を守る！**… まずは周囲を確認し、自分の**身の安全を確保**しましょう。
- 2 **出口を確保する！**…………… 揺れがおさまったら、窓や戸を開け、**出口を確保**しましょう。
- 3 **電源等の確認を！**…………… 地震直後に停電した際は、電化製品の**スイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜きましょう。**
- 4 **ストーブの確認を！**…………… 石油ストーブやファンヒーターからの**油漏れの有無を確認**しましょう。
- 5 **避難する際は**…………… **電気のブレーカーを落としましょう。**
- 6 **避難からもどったら**…………… ガス機器、電化製品及び石油器具の使用を再開するときは、**機器に破損がないこと、近くに燃えやすい物がないことを確認**しましょう。

お問い合わせ先

- ◆ 臨港消防署 TEL 299-0119
- ◆ 川崎消防署 TEL 223-0119
- ◆ 幸消防署 TEL 511-0119
- ◆ 中原消防署 TEL 411-0119

- ◆ 高津消防署 TEL 811-0119
- ◆ 宮前消防署 TEL 852-0119
- ◆ 多摩消防署 TEL 933-0119
- ◆ 麻生消防署 TEL 951-0119



消防団に入団して防災の知識と技術を習得しよう！

